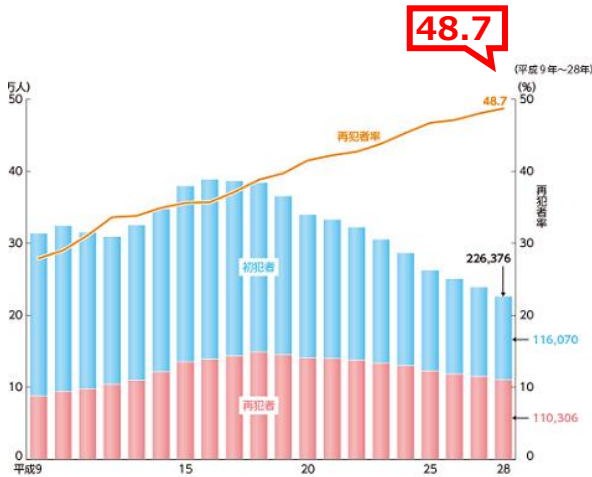


日本財団 職親プロジェクト 概要

■なぜ、再犯防止の取組みが必要なのか

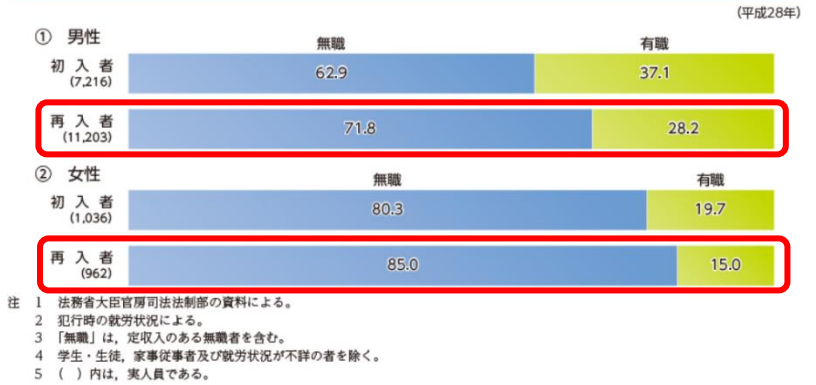
一般刑法犯の検挙者が2005年以降、減少していますが、再犯者率は1997年以降、上昇し続け、2016年には過去最高の**48.7%**となりました。また、再び罪を犯した者の**71.8%**が**無職**で、職業がある者の再犯率の約2.5倍に上っています。

再犯者率の伸び



再犯者の割合 (有職・無職、男女別)

5-2-3-4 入所受刑者の就労状況別構成比 (男女別, 初入者・再入者別)



※法務省ホームページより引用

一度、罪を犯すと、様々なハンディキャップを背負い、社会復帰を望んでも叶わないのが日本の現状です。

それは、**刑務所出所者や少年院出所者が犯罪を繰り返す要因になっています。**この悪循環は、大きくなればなるほど犯罪の被害に悲しむ人が増えることに他ならず、日本が安心・安全な国になるためには、再犯を防ぐことは欠かせません。

■「職親プロジェクト」とは

目的

職親プロジェクトは、刑務所や少年院にいるときから更生支援の為にプログラム、出所・出院後の就労体験及び教育を提供することで、更生と円滑な社会復帰を支援し、再犯防止を目指します。

活動理念

「ひとりをみんなで支える」
 つまずいてもやり直せる社会
 仕事、学び、住まい、人とのふれあいを通じて、社会の一員として生きる喜びを
 ひとりひとりの笑顔から大きな輪に広げる

日本財団は、刑務所出所者や少年院出所者の再犯防止及び社会復帰を目指し、2013年に職親プロジェクトを立ち上げ、「就労」、「教育」、「住居」、「仲間づくり」の視点で企業や民間団体と連携し、刑務所出所者や少年院出所者に**就労体験や教育**を提供することで、円滑な社会復帰を支援します。

